



ごあいさつ

私たちは、三月の市議会定例会において、議長及び副議長に選出されました。

北九州市は、三期目を迎えた末吉市長を先頭に、二十一世紀に向けた、暮らしやすく活気のある都市づくりを進めています。

市議会も、市民の皆様への託を重く受け止め、その役割を誠実に果たすことで、市の発展に貢献していく決意です。皆様のご意見、ご要望を、今後の議会の審議に生かしてまいりたいと思っております。ご協力をお願い申し上げます。



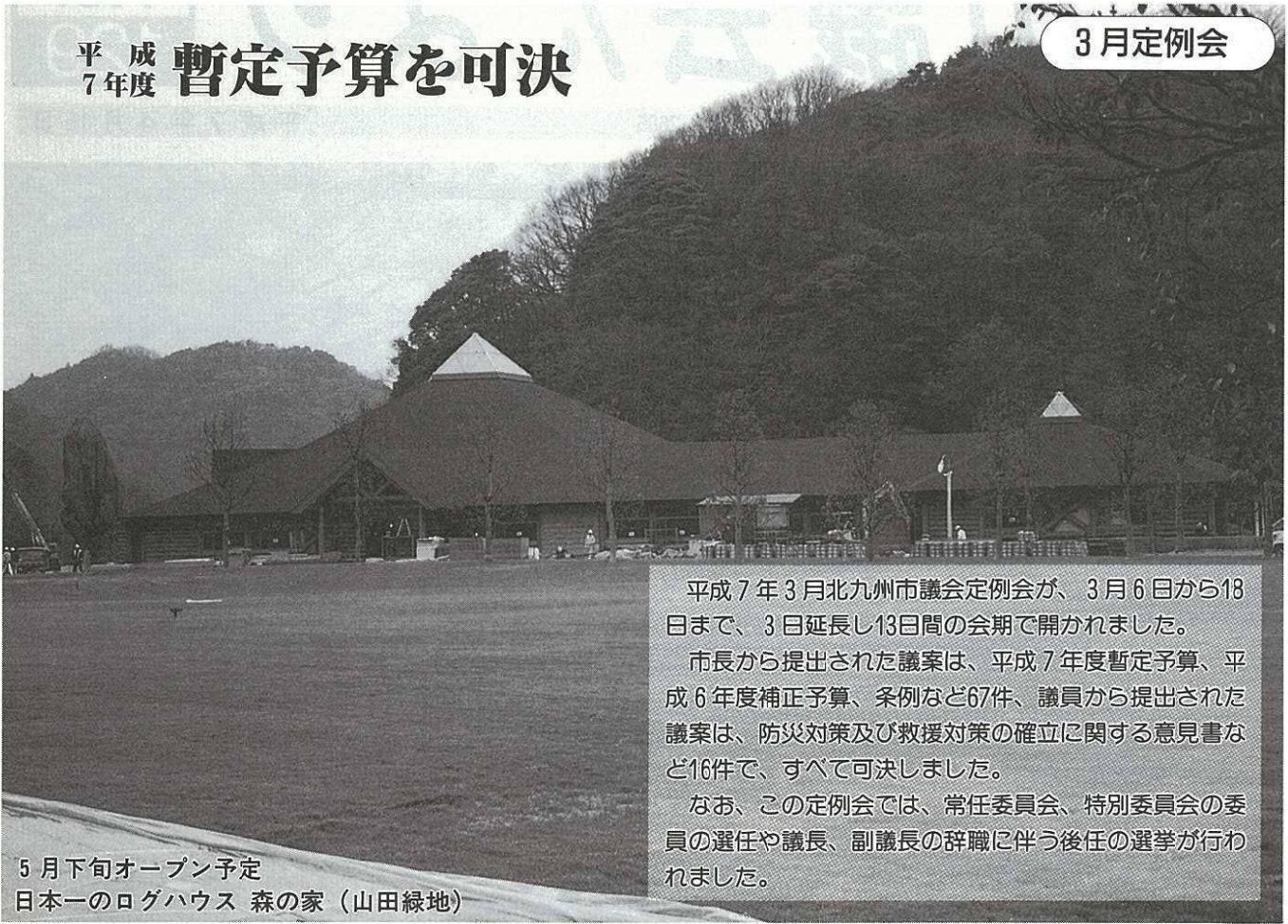
副議長
野口 研一



議長
井上 勝二

平成7年度 暫定予算を可決

3月定例会



5月下旬オープン予定
日本一のログハウス 森の家（山田緑地）

平成7年3月北九州市議会定例会が、3月6日から18日まで、3日延長し13日間の会期で開かれました。

市長から提出された議案は、平成7年度暫定予算、平成6年度補正予算、条例など67件、議員から提出された議案は、防災対策及び救援対策の確立に関する意見書など16件で、すべて可決しました。

なお、この定例会では、常任委員会、特別委員会の委員の選任や議長、副議長の辞職に伴う後任の選挙が行われました。

市長が提出した 議案

(主なもの)

平成7年度暫定予算
今回の予算は、予算編成時期に市長選挙が行われたことから、四月～六月の三カ月間の暫定予算となっています。

区 分	予算総額
一般会計	1,633億8,300万円
特別会計	850億9,343万円
企業会計	320億2,849万円
合 計	2,805億 492万円

平成6年度補正予算

区 分	補正額	補正後の額
一般会計	△ 27億1,768万円	5,192億6,424万円
特別会計	△ 9億2,607万円	4,104億4,146万円
企業会計	4億6,041万円	1,259億1,281万円
合 計	△ 31億8,334万円	1兆556億1,851万円

※△は減額、単位千円以下は切り捨て

市条例の制定または改正
○震災被災者などに北九州大
学入学金等の減免、徴収の猶
子を実施

○女性センター「ムーブ」と
大手町練習場を小倉北区大手
町に七月一日オープン

○老人福祉施設徳寿園デイサ
ービスセンターを小倉南区徳
力に新設

○八幡休日急患診療所を八幡
西区清納から穴生に移転

○国民健康保険料の賦課限度
額を現行四八万円から五〇万
円に引き上げ

○山田緑地の入園料と駐車施
設使用料、森の家使用料、香
月中央運動場使用料の新設、
高塔山草庵の廃止

○市営バスの普通旅客運賃の
改定と全線一日旅客運賃の新
設

○奨学金の貸付金額を現行月
額四万四千円以内を四万七千
円以内に引き上げ

土地の取得

○八幡西区大字笹田の土地一
万六、六一三㎡を仮称第二木
屋瀬小学校用地として五億八
八一〇万円で買い入れ

議員が提出した 議案

(可決したもの)

○抜本的な防災対策及び救援
対策の確立に関する意見書

○阪神・淡路大震災の被災地
に対する支援策と、都市型災
害への防災対策の強化を図る
よう要請するもの

○北九州市議会委員会条例の
一部改正

議会運営委員会の委員定数
の変更を行うもの

○北九州市東部農業委員会及
び西部農業委員会の委員の推
薦（二議案）

○特別委員会の設置に関する
議案（六議案）
市政の重要課題を調査研究
するため、六つの特別委員会
を設置するもの

○ボランティア活動への支援
拡大を求める意見書

○いじめ問題に対する抜本的
な対策を求める意見書

○地方分権の推進に関する法
律の制定を求める意見書

○震災対策推進に関する決議

○議長の不信任に関する決議

請願・陳情

(採択したもの)

請願

○八幡中央区商店街の老朽化
した水道管、下水道管の布設
替えについて

○戸畑区三六町～小倉高校間
のバス専用道路と市道の一元
化について

○いじめ根絶に関する決議に
ついて

陳情

○若松区小石、赤崎小学校校
区の児童館又は学童保育クラ
ブの設置について

質問と答弁



本会議で、10人の議員が、議案や市政全般について、質問を行いました。
その中から、いくつかをとりあげました。

市と関係防災機関で構成する防災会議で毎年見直しを行い、総合的で、具体的かつ実践的なものとしてきました。

本市は、これまで大きな地震の経験がなかったため、基本的には風水害対策を中心とした計画になっていました。

今回の大震災をきっかけに、国は防災基本計画の見直しを始め、本市も、三月三日の防災会議で災害の想定に地震を加えるなど、地域防災計画の見直しを始めています。

その結果、直ちに取っかかるものはずでに着手しています。

今後取り組むものには、国の防災基本計画の見直しや都市基盤の基準の見直しなどに基づいて改正するもの、科学調査をもとに見直すものなどがあります。

また、市役所内部の防災体制の強化も図っていきます。

防災対策特集

防災計画の見直し

議員 本市の地域防災計画は、風水害を中心に考えられ、地震についての対応は十分ではないようです。今後の防災計画の見直しについてお尋ねします。

市民局長 地域防災計画は、

人員八五%ですが、ヘリコプターなど基準にない機材を導入して、実情に応じた効果的、近代的な消防力の整備に努めています。

消防団についても、ポンプ自動車の配置など、他都市にない機動力を有しています。

また、防火水槽は消防庁の技術指針に基づいて設置しています。耐震性については、国が防災体制の見直し中であり、その結果などを参考にしてお対応していきたいと考えています。

救急

医療体制

議員 災害時の救急医療体制のあり方として、市立病院を救急医療機関として確立すべきではありませんか。

また、医療機関での医薬品の備蓄、器材の確保を進めるべきではありませんか。

消防力の整備

議員 本市の消防力は施設・車両・人員とも国の基準を下回っています。都市化に対応した機材と人員の充実を図るべきではありませんか。

また、耐震防火水槽も設置すべきではありませんか。

消防局長 本市の消防力の充足率は、国の基準に対して消防署八八%、消防車九〇%、

病院局長 医薬品などの備

日程

日	議案	審議
3月6日(月)	本会議	(開会) ・議員提出議案(防災・救援対策の確立に関する意見書)上程、提案理由説明、採決 ・市長提出議案(北九州大学条例の一部改正)上程、提案理由説明、常任委員会へ付託、常任委員長報告、採決
7日(火)	本会議	・議席の変更 ・議員提出議案(市議会委員会条例の一部改正)上程、提案理由説明、採決 ・常任委員の選任 ・議会運営委員の選任
8日(水)	本会議	・市長提出議案(一般会計・特別会計・企業会計の7年度暫定予算、6年度補正予算など61件)上程、提案理由説明、質疑、議案を常任委員会へ付託
9日(木)	本会議	・一般質問 ・一般質問
10日(金)	本会議	・議案を審査
13日(月)	常任委員会	・議案、請願、陳情を審査
14日(火)	常任委員会	・議長不信任決議案上程、提案理由説明、採決
15日(水)	本会議	・副議長不信任決議案上程、提案理由説明、採決 ・議案の審査結果を各常任委員長が報告、質疑
16日(木)	本会議	・議案について討論、採決 ・市長提出議案(教育委員会委員任命、人事委員会委員選任)上程、提案理由説明、採決
17日(金)	本会議	・議長不信任決議案上程、提案理由説明、採決 ・新議長選挙 ・副議長不信任決議案上程、提案理由説明、採決 ・新副議長選挙
18日(土)	本会議	・市長提出議案(監査委員の選任など3件)上程、提案理由説明、討論、採決 ・議員提出議案(東部及び西部農業委員会委員の推薦、特別委員会の設置、ボランティア活動への支援拡大を求める意見書など12件)上程、提案理由説明、質疑、討論、採決 ・特別委員会委員の選任 ・請願、陳情について討論、採決 (閉会)

蓄は、薬の薬効期間や、器材の有効期間が短いため、大量備蓄よりも、安定供給や、輸送手段の確保が必要であると考えています。

活断層の調査

議員 白島付近の海域に活断層はないという考えのようですが、調査を行い、結果が出るまで、石油備蓄基地の建設は中止すべきではありませんか。

港湾局長 北九州地域の活断層は、「新編、日本の活断層」(東京大学出版会)によると、小倉東断層、福智山断層、頓田断層の三方が認められています。しかし、白島海域

もっと市民福祉センターを活用しては

議員 大災害のとき、高齢者や障害者の避難には、手助けが必要です。いつ災害が発生しても救助できるような組織づくりが急務と思われれますが、いかがですか。

また、生涯教育と保健福祉のネットワーク拠点としての

市民福祉センターに、防災の拠点としての役割も持たせてはどうでしょうか。

市民局長 広範な地域に大きな被害が瞬時に及ぶような災害では、直ちに消防隊員等がすべての被災者の救援にかけつけることは困難です。行政機関だけでなく、市民全体を組織化してあたるのが重要だと考えます。

とりわけ、高齢者など災害弱者の救助に、地域が果たす役割は大きく、各自治会に対して自主防災組織の結成を呼びかけています。

現在、計画中の市民福祉センターには防災の拠点としての役割を盛り込むことになっています。自主防災組織の結成・育成の拠点、市民の防災研修の場とするなど、ソフト面を含め、積極的に活用していきたいと考えています。

震災の教訓

議員 地震が比較的少ないといわれていた関西圏で起こった大震災は、本市にとっても他人ごとではありません。職員派遣による支援の体験を、本市の防災に生かしていかなければなりません。この震災から学んだ教訓はなんですか。

市長 この震災から得た教訓は、危機管理の重要性です。具体的には、①情報の収集伝達と命令系統の確立②防災関係機関との連携強化、特に初期の迅速な対応③物資の調達、輸送手段の確保④自主防災組織の育成やボランティアの確保などです。

派遣した職員の経験は、本市の防災に十分生かしていきたいと考えています。

知っていますか？ 避難の経路・場所

議員 市民は、災害時の避難経路や避難場所を知っておく必要があると思います。

また、市内各所に活動の拠点となる避難場所を設け、生活物資の備蓄をしておくべきだと思いますが、いかがですか。

市民局長 本市の避難場所は、すべての市立小・中学校

二百二十カ所を含む三百二十カ所を指定しています。今回の震災の発生を機に、市政だよりでお知らせしました。

今後も、出前講演やパンフレットの配布などを通して、全ての市民に知らせていきたいと思っています。

避難経路については、警察や消防、各区の職員等が安全な経路に誘導しますが、災害の規模によっては対応しきれない場合もあり、今後結成される自主防災組織の中で、検討していただく考えです。

また、避難場所への生活物資の備蓄や一時的または長期的避難場所の区分は、防災計画の見直しの中で、検討していきたいと思っています。

ボランティアのシステム整備

議員 今回の大震災で、ボランティアが大きな役割を果たしていますが、この受け入れ態勢が不十分だと指摘されています。

そこで、各分野にわたる防災ボランティアを登録しておくき、災害時、直ちに派遣できるシステムを整備することが必要ではありませんか。

市民局長 災害時のボランティアは、通常の特定目的のボランティアと異なり、その活動内容は幅広く、多人数による組織的で統制のとれた活動が有効だと思われま

大震災！ 修学旅行はどうなる？

阪神・淡路大震災によって、新幹線が一部不通になりました。中学校の修学旅行に与える影響、また今後の目的地、日程等の決め方について、議員から質問がありました。

教育長は、「7年度は、予定どおり京都・奈良方面を目的地に実施しますが、交通機関には例年利用している新幹線とバスの他、帰路にフェリーを利用することとしました。したがって日程が3泊4日となり、費用が600円ほど高くなって約5万円となります。

また従来、費用の軽減のため、各学校とも、校長会で組織する「修学旅行委員会」で定めた同一の計画に基づき実施していますが、特色ある教育を進める観点から、各学校ごとに企画することも校長会やPTAなどと協議していきます」と答えました。



消防ヘリコプターの離発着場の確保

現在、国の防災基本計画の見直しの中で、ボランティアについても検討されています。国の防災基本計画は五月末までに示されることになっており、その内容を見て、本市に合った制度を検討していきます。

議員 市立病院や夜間・休日急患センター、災害緊急時の避難場所などに、消防ヘリコプターが離発着するためのヘリポートやホバリングスペースを確保する必要があります。と思いますが、いかがですか。

消防局長 現在、市内の医療機関でヘリコプターのホバリングスペースを設置しているのは、市立医療センターだけです。ヘリポート等は、人命救助



消防ヘリコプター「自衛隊のり」

や消火活動を行う際の重要な施設であり、医療機関を含め高層建築物等に設置を指導しているところでは、

また、災害緊急時のヘリポート等の確保については、市内の要所にあらかじめ拠点ヘリポートを定め、救急搬送や物資輸送などの活動を行うこととしています。

ホバリングスペース
空中で停止して、救助活動などができる広さなどを備えた、建物屋上のスペース

消火用水確保

議員 阪神・淡路大震災で、消火用水確保の大切さがわかりました。十分な消火のため、消火栓からの放水に加え、海水や河川の利用も検討すべきだと思いますが、いかがですか。

消防局長 今回の大震災では、水道管が破損し、消火栓が使えない所では、消火活動に海水や河川の水を使ったと聞いています。

本市で消火栓が使えないときは、防火水槽、学校のプール、河川から水を利用することとしています。しかし、今度のような大災害に備え、十分な消火用水を確保するため、河川のせき止めや川底に水をためる弁を設けるなどの方法を関係局と話し合っています。

そのほかの質問

東九州の発展をめざして

議員 行政区を超えて、地域が交流し、様々な機能を分担し合う「地域連携構想」に関連し、本市を含む東九州の地域が、国土庁のモデル地域の指定を受けました。この構想について、市長はどのように考えていますか。

また、本市にもたらす影響についてお聞かせください。

市長 地域連携構想は、日豊本線沿いの東九州、鹿児島本線沿いの西九州という考え方があります。鉄道でも道路でも東九州の方が相当遅れており、東九州の発展には、東九州自動車道を含め、幹線の強化が必要です。東九州軸の重要性が認識されてきたことが、モデル地域の指定につながったと思っています。

東九州が国土政策の中でモデル地域として位置付けられたことで、優先順位が高くなることが予想されます。東九州軸の強化について、国も好意的に見てくれていると思います。本市を交通の要とするために、地域の連携に積極的に参画し、東九州軸の強化に努力していきたいと考えています。

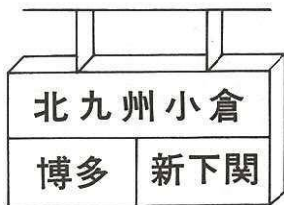
フロンを一掃!

▼オゾンを守るために▲

議員 特定フロンはオゾン層の破壊原因とされ、わが国でも、今年末で全廃されます。フロンの回収さらには全廃へ向けて、県と合同で検討した内容と今後の取り組みについて、お答えください。

環境局長 昨年、県に設置された「フロン回収推進委員会」に参加し、本市を含む県内四地域で、廃棄冷蔵庫からフロンを回収するテスト事業を行いました。そのときの本市の回収率は三〇%以下という低いものでした。回収率向上のため、委員会の検討結果を踏まえ、引き続き、市独自に回収テスト事業を行い、研

本市のイメージアップに 駅名変更を!



議員から、「本市の知名度を上げるため、JR小倉駅の建て替えに合わせて新幹線の駅名だけでも変更してはどうか」との質問がありました。

市長から、「駅名の変更は、行政主導ではなく、市民の発意と市民運動の盛り上がりが必要で、行政が率先して行うことは、現在考えていません」との答弁がありました。



新小倉駅ビルの模型

議員 市長の選挙公約の一つに、六十五歳まで働ける環境づくりがありますが、どのように実現していくのですか。
市長 高齢者の生きがい、社会参加ということを考えるべく、六十五歳まで働ける環境づくりが必要だと思います。高齢者の就職の機会を増や

取り組みます! 六十五歳まで働ける 環境づくり

究りたいと考えています。また、本市では、これまで廃車した市営バスからのフロン回収や市民啓発などの対策を実施していますが、一層の推進を図るために、県と協議しながら、関係者の役割分担や対策指針の作成についても検討したいと思えます。

新しい JR小倉駅!

▼さて、福祉の面は?▲

ワークシェアリング
*ワークシェアリング
長期休暇制度の普及などにより、一人当たりの労働時間を短縮して、より多くの人が就職できるようにすること

そのため、シルバー人材センターや、高齢者能力開発情報センターの活用のほか、ワークシェアリングなど時間をかけて、じっくりと取り組んでいきたいと思えます。

普通エレベーター及びエスカレーターを、そして五カ所に障害者用トイレを設置する予定になっています。
また、障害者団体から要望があった、全ホームへの障害者用エレベーターの設置、点字ブロックなど視覚障害者に対する誘導システムの整備も、検討しているということ

なぜできないの? 入院給食費の助成

議員 今年度改築されるJR小倉駅は、福祉の面でのどのような対策がとられていますか。
保健福祉局長 昨年の基本設計の段階で、JR九州に福祉都市環境整備要綱の趣旨内容を説明し、協力をお願いしています。

議員 昨年十月に入院給食費の自己負担制度が開始されて以来、二十八の都府県七つの政令市で自己負担分への助成が行われています。本市も助成を行うべきではありませんか。
保健福祉局長 入院給食費の自己負担制度は、入院中の人と在宅の人の負担の公平化を図ることなどが趣旨のため、今のところ助成する考えはありません。なお、福祉医療制度で助成した場合、現行の七〇億円に加え、五、六億円の予算が必要になり、福祉医療制度が成り立たなくなります。

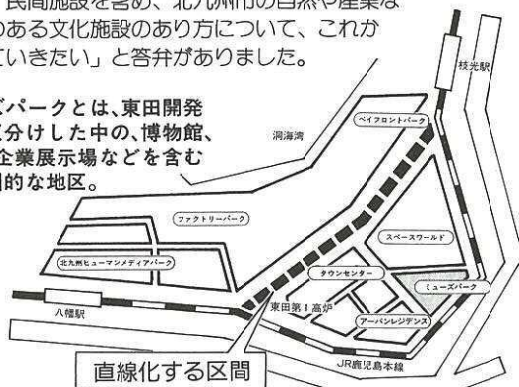
また、多くの政令市が、福祉医療を、府や県の補助事業として実施しているのに比べ、

八幡東田総合開発 ミューズパークに市の文化施設を

議員から、「八幡東区東田地区の再開発の中に、学習、遊び、環境が一体となったミューズパークの整備が考えられているが、その核として、市が文化施設を建設しては?」と質問がありました。

市長から、「保存の方向性が出た東田高炉の活用と関連させて、民間施設を含め、北九州市の自然や産業などに関係のある文化施設のあり方について、これから検討していきたい」と答弁がありました。

*ミューズパークとは、東田開発地区を区分けした中の、博物館、美術館、企業展示場などを含む文化公園的な地区。



高齢者や障害者にも 愛される市営バスに!

議員 市営バスの運賃が上がるということですが、高齢者や障害者の足を守るため、配慮が必要だと思いますが、いかがですか。
交通局長 自家用車を持つ

議員 市営バスの運賃が上がるということですが、高齢者や障害者の足を守るため、配慮が必要だと思いますが、いかがですか。
交通局長 自家用車を持つ

本市の場合は、大部分の福祉医療が、市の自前の財源で行う単独事業として行われています。このため、本市が支出する福祉医療費の額は、市民一人当たりに直すと、他の政令市の場合の約三・五倍になっています。

福岡・佐賀地区全十七社のうち十六社が運賃の値上げをしてから、約一年五カ月遅れで、今回値上げを行うものです。
しかし、高齢者や障害者の運賃負担を軽減するためのサービスは、今後も続けていきます。経営の基本は独立採算ですが、バス事業による収益のほかに、市の援助金を活用していきたいと思えます。

高齢者・障害者に配慮 市営住宅の今後の対策

議員 高齢者や障害者の要望に応じた、住みやすい市営住宅に改善すべきだと思います。今後の取り組みについてお聞かせください。

建築局長 すでに建築されている市営住宅については、

四年度に、階段の手すりを三十棟に付けました。さらに、五年度から九年度にかけて計画的に付けていきます。

室内の手すりは、四級以上の身体障害者の方などには申請により付けています。そのほか、和式トイレや和室を洋

式に変更しています。

新たに建築する市営住宅には、段差を解消し、車椅子が通れるよう、廊下幅を八十五cm確保しています。

また、一階の各戸には玄関までのスロープ、埋め込み浴槽を採用しています。

市立門司病院

市立門司病院

議員 市立門司病院第二病棟の一時休止を取りやめ、現在の診療科目を減らさず、総合病院として存続してほしいと思います。いかがですか。

また、施設の建て替え時期に考えていますが、現地で建て替えてはどうですか。

病院局長 第二病棟は、産婦人科と小児科を中心とした病棟で、全国的な少子化傾向の中、患者数が減少しています。第二病棟の一時休止は、患者数に見合った病棟運用を行うものです。

また、第二病棟の一時休止後も、現在の診療科目を継続して総合病院として存続させたいと考えています。

現在、「公立病院を含む医療体制のあり方検討委員会」において公的病院の果たす役割や、機能のあり方について総合的に検討されています。

そのうえで、老朽化した病院の建て替えも今後の検討課題になると考えています。

環境影響評価に遅れ?

白野江人工島

議員 白野江人工島の建設は、環境影響評価ができず、埋立て申請が遅れているという点ですが、いつ準備書ができるのか、お伺いします。

市長 白野江人工島建設計画は、コンテナ輸送が急増している状況から、なるべく早く着工したいと考えています。

港務局長 大水深岸壁の本格的なコンテナターミナルとして、白野江人工島の建設は二十一世紀の北九州港にとって必要不可欠な計画です。

現在、漁獲高調査、漁協実態調査などを行っており、七

年度から、漁業関係者との補償交渉に向けた協議に入りたいと考えています。

環境影響評価準備書の作成は、おおむね作業を終了し、補足的な調査をしています。

漁業関係者との調整状況を考慮しながら、最終的な取りまとめを行うことにしています。

漁業関係者との基本的な調整が終わりしだい、準備書の告示・縦覧などの手続きに入りたいと考えています。

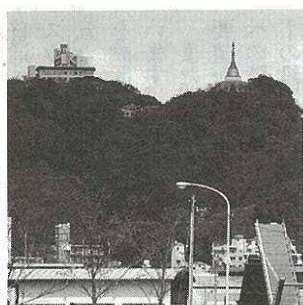
めかり山荘の整備を

議員 国民宿舎めかり山荘は、老朽化しており、改修が望まれます。

門司港レトロのオープンで、観光客が増えると思われるが、整備計画をお伺いします。

市長 めかり山荘は、建築後三十一年を経過し、老朽化が進んでおり、改修したいと思っています。

また、門司港レトロ事業もある程度整備されてきたので、門司港周辺だけでなく、和布



はね橋からめかり山荘をのぞむ

戦後五十周年記念事業の取り組みは?



今年、第二次世界大戦が終結して五十年目を迎えます。戦後五十周年の記念事業の取り組みについて、議員から質問がありました。

総務局長は、「戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に伝えていくことは大切なことだと考えています。

今年には戦後五十周年の大きな節目の年であり、現在、記念事業の全体計画をどうするか、検討しています。なお、事業の一環として、平和を願う資料展を計画しており、市政だよりなどを通して資料の提供を市民に呼びかけています」と答えました。

刈地区をどのように整備していくのか、考える時期に入っています。

和布刈地区の発展と、門司港レトロ事業の整備に合せて、めかり山荘の整備をしていかなければならないと思います。

複合的な公共施設を

曾根地区の開発

議員 小倉南消防署曾根出張所横の市有地に、住民要望の強い体育館と図書館を併設した、複合的な公共施設を建設してはどうですか。

また、老朽化の進んだ小倉南区役所曾根出張所をここに

張所横の市有地に、住民要望の強い体育館と図書館を併設した、複合的な公共施設を建設してはどうですか。

建築場所は、広さや用地取得の容易さ、交通の利便さなどから、ご指摘の市有地を考えています。早急に施設の建設計画を進め、事業を具体化したいと考えています。

敷地内にある水道局小倉南営業所曾根分室と、今後、建設を予定している地域体育館、子ども母の図書館も一体的に整備していく方向で、協議しています。

また、老朽化の進んだ小倉南区役所曾根出張所をここに

交通整理はどうする 門司港レトロ地区



3月25日に門司港レトロの建物がいっせいにオープンすることに伴い、周辺地域の交通問題について議員から質問がありました。

企画局長は、「オープン後は、周辺道路の駐車が禁止され、広場周辺への大型車両の進入が規制されます。観光地として、自動車での来訪者も多くなるので、東港町に駐車場を開設し、一帯の駐車禁止措置等を図っていきます」

建設局長は、「5月末に清滝西海岸線が開通の見込みです。開通後は、案内標識で誘導するため、門司港駅前の通過交通の流入を十分抑制できると考えています」と答えました。



いじめから 子供を救おう

議員 大きな社会問題となつている「いじめ」について本市の現状や、問題解決に向けての取り組みはどうなっていますか。

教育長 本市の調査では、市内の市立小・中学校で五年度に五十八件の「いじめ」が発生しています。全国的にみて少ない数ですが、把握しにくい面もあり、これがすべてとは考えていません。各学校に対し、実態把握に努め、理由がなんであれ「いじめ」は許されないと教職員の共通理解を図るとともに、具体的な防止対策を講じるよう指導しているところです。

また、各中学校や教育センター、少年相談センターなどで相談に応じるほか、七年度からは、各学校を巡回し、子どもたちや教職員の相談を受け、指導助言する巡回カウンセラー制度も導入して、教育相談機能の充実を図っていきます。

一方、このような短期的な対策のほかに、長期的な取り組みも必要です。授業を充実させ、多様な教育活動を展開することで、子供たちの個性を伸ばし、他人を思いやる心を育てる学校づくりを進めていくよう指導していきたいと考えています。

また、いじめ問題解決のためには、学校、家庭、地域の連携・協力が不可欠です。家庭と十分に連携を取りながら、学校の指導についての理解を求めると同時に、地域単位の協議会を設置し、子どもたちの成長について話し合っていく体制づくりも進めます。

いよいよ動き出します

市立女性センター

議員 愛称「ムーブ」に決まった女性センターの運営の基本的な考え方などについてお聞かせください。

また、市民へのPR方法についてお尋ねします。

市民局長 女性センターは、女性の地位向上及び社会参画を支援し、男女共同参画社会の実現を目指しています。そのため、個人やグループが自主的に活動、交流する場を提供するとともに、その活動を支援する事業を行います。開館は七月一日の予定です。運営に当たっては、市民の意見を十分反映するために、運営協議会をつくり、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムに委託し、運営を行うようにしています。

また、PRについては、市政だより等いろいろな方法で積極的に行なっていきますが、市民だけでなく、全国に北九州市立女性センターの開館をお知らせし、関心を持ってもらうため、七月の開館の際にオープンングイベントを開催します。

虚弱年長者

移送サービス

好評につき拡大!

議員 虚弱年長者移送サービスが戸畑区と八幡東区で試行されて一年が経過しますが、今後、他区への拡大はどうなのでしょうか。

また、移送サービスという名前をもっとあたたかみのあるものに変えてはどうですか。

保健福祉局長 虚弱年長者移送サービスは、連合北九州の協力で、六月一月からモデル事業として開始し、一年を経過しました。大変好評で、七年度も引き続き実施したいと考えています。

また、七年度は、連合北九州と協議して新たに二区増やし、四区で行いたいと考えています。

なお、名前については、市民に親しまれる愛称を検討したいと思っています。

虚弱年長者移送サービス

一人で外出が困難なおとしよりで、ボランティアセンターに登録された方をボランティアが車で目的地まで送り迎えるサービス

市議会の傍聴にいらっしやいませんか

～ポケットいっぱい市政情報を持ち帰れます～

市議会では、年4回の定例会（2月または3月、6月、9月、12月）のほか、随時、委員会が開かれています。

私たちの日常生活に身近な諸問題が論議、決定されており、市政の動きや市議会の様子がよくわかります。ぜひ、一度、傍聴されてはいかがでしょうか。

本会議の傍聴は、会議当日、開議1時間前から議会棟北側一階の傍聴人受付（右図参照）で、先着順に受け付けます。

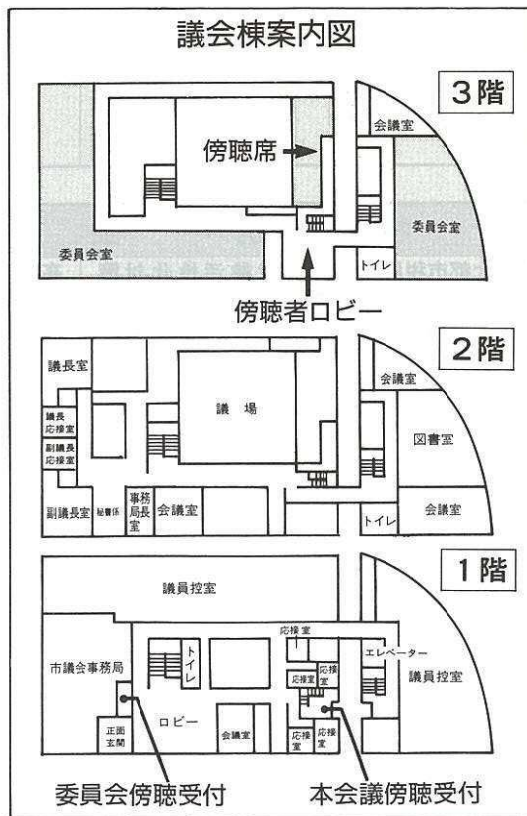
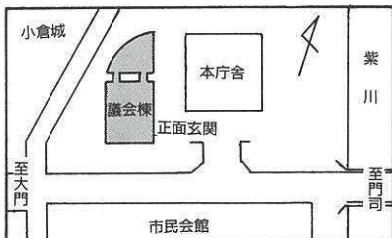
委員会の傍聴は、委員会当日、開会1時間前から議会正面玄関内の守衛室で、先着順に受け付けます。（傍聴者多数の場合、事前に整理札をお渡しします。）

なお、傍聴席の定員は、議場137人、各委員会室10人となっています。車いすをご利用の方は、エレベーターで傍聴専用席へご案内します。

また、聴覚障害の方のために、音声伝達システムを備えていますので、発言内容を明瞭に聞くことができます。

定例会、委員会の開催日時その他、傍聴についてのお問い合わせは、市議会事務局総務課（☎582-2621）までどうぞ。

あなたの傍聴をお待ちしております。



会 派 構 成								◎代表者		議会運営委員会	
自民市民クラブ	民社・市民連合	自由民主党	日本社会党	公 明	日本共産党	無 所 属	無 所 属	◎委員長 ○副委員長			
◎武智 弘 後藤 俊秀 伊藤 豊仁 佐々木健五 三原 征彦 田仲 一雅 蔵田 博 井上 勝二 井生 猛志 浜田 順治 木下 憲定 渡辺 讓治 平山 政智 吉尾 計 山中 三敏 (15名)	◎大坪 郁夫 中川 壽 佐藤 昭紀 中野 利幸 泊 正明 山田征士郎 安藤 正道 谷 良三 野口 研一 重田 幸吉 (10名)	◎木村 証 河崎 誠 中島 慎一 城戸 武光 鷹木 勝治 片山 尹 吉田 通生 三村 善茂 戸町 武 上田 唯之 (10名)	◎松井 克演 白石 照義 江島 勉 坂本 英敏 青山 幸雄 馬場 一榮 原田 照男 野上 隆三 重野 幸宏 (9名)	◎有馬 利雄 平田 勝利 木村 優一 西 豊磨 小野 臣博 吉河 節郎 赤松 文雄 高尾 新一 中村 昌雄 (9名)	◎野依 勇武 村田 孝英 水町 勝利 石田 康高 福田 淑江 橋本 和生 原 博道 有馬 和子 荒川 徹 (9名)	細川 政勝 (1名)	木村 正幸 (1名)	◎三原 征彦 ○山田 征士郎 伊藤 豊仁 泊 正明 中島 慎一 城戸 武光 坂本 英敏 西 豊磨 石田 康高			

常 任 委 員 会							◎委員長 ○副委員長	
名称	総務財政委員会	経済港湾委員会	厚生消防委員会	環境教育委員会	建設交通委員会	建築水道委員会		
所管事項	会計室、秘書室、広報室、契約室、検査室、企画局、総務局、財政局、市民局の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属しない事項	経済局、港湾局及び農業委員会の所管に属する事項	保健福祉局、消防局及び病院局の所管に属する事項	環境局、北九州大学及び教育委員会の所管に属する事項	建設局、都市計画局及び交通局の所管に属する事項	下水道局、建築局及び水道局の所管に属する事項		
委員名	◎蔵田 博 ○江島 勉 三原 征彦 武智 弘 佐藤 昭紀 重田 幸吉 木村 証 重野 幸宏 有馬 利雄 水町 勝利	◎安藤 正道 ○西 豊磨 伊藤 豊仁 吉尾 計 泊 正明 吉田 通生 三村 善茂 坂本 英敏 小野 臣博 野依 勇武 橋本 和生	◎平田 勝利 ○田仲 一雅 後藤 俊秀 野口 研一 中島 慎一 白石 照義 野上 隆三 高尾 新一 有馬 和子 木村 正幸	◎井生 猛志 ○福田 淑江 木下 憲定 山田征士郎 大坪 郁夫 鷹木 勝治 上田 唯之 青山 幸雄 赤松 文雄 荒川 徹 細川 政勝	◎河崎 誠 ○松井 克演 浜田 順治 渡辺 讓治 山中 三敏 中川 壽 谷 良三 片山 尹 馬場 一榮 中村 昌雄 石田 康高	◎城戸 武光 ○村田 孝英 佐々木健五 井上 勝二 平山 政智 中野 利幸 戸町 武 原田 照男 木村 優一 吉河 節郎 原 博道		

特 別 委 員 会							◎委員長 ○副委員長	
名称	大都市税財政制度確立特別委員会	産業活性化対策特別委員会	高齢化社会対策特別委員会	防災対策特別委員会	新空港・都市交通対策特別委員会	都市開発対策特別委員会		
調査事件	●大都市税財政制度の確立について ●市のイメージアップについて	●産業の育成、企業誘致及び雇用対策について ●流通・貿易の振興について ●観光都市の形成について	●高齢化社会対策について	●地域防災計画について	●広域交通ネットワークについて	●学術・研究都市の形成について ●都心・副都心の整備について ●白野江人工島建設事業・響灘の港湾整備について ●都市環境について		
委員名	◎馬場 一榮 ○伊藤 豊仁 平山 政智 佐藤 昭紀 片山 尹 白石 照義 平田 勝利 木村 優一 福田 淑江 荒川 徹	◎谷 良三 ○原田 照男 田仲 一雅 井生 猛志 武智 弘 中野 利幸 中島 慎一 松井 克演 赤松 文雄 村田 孝英	◎水町 勝利 ○小野 臣博 三原 征彦 蔵田 博 吉尾 計 大坪 郁夫 三村 善茂 重野 幸宏 橋本 和生 細川 政勝	◎原 博道 ○山田征士郎 佐々木健五 山中 三敏 重田 幸吉 鷹木 勝治 吉田 通生 坂本 英敏 高尾 新一 有馬 和子	◎江島 勉 ○後藤 俊秀 木下 憲定 中川 壽 安藤 正道 河崎 誠 上田 唯之 青山 幸雄 中村 昌雄 野依 勇武	◎有馬 利雄 ○石田 康高 浜田 順治 渡辺 讓治 泊 正明 城戸 武光 木村 証 野上 隆三 西 豊磨 木村 正幸		

□本紙は再生紙を使用しています。

□全世界配布

□印刷

株式会社

ゼンリンプリンテックス(門司区)